

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科 1 年	単 位	23 単位
科目コード 000210/000310 000510/000610/000700	科目名 服装造形 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：羽田 さゆ里	共同担当者： 1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋 5-森 6-山根 7-塚崎
-----------------	---

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・作品製作を通し服飾造形基礎知と服作りの技術と理論の習得
- ・立体裁断基礎知識の習得

【授業計画】

服装造形論 I	4 単位	(000210)	
服装造形デザイン I	3 単位	(000310)	
服装造形パターンメイキング I	4 単位	(000510)	
服装造形ソーイング I	11 単位	(000610)	
1. 服装造形概説・縫製の基礎	16 コマ	5. パンツ	34 コマ
2. 体型研究	32 コマ	7. 総裏スカート	40 コマ
3. 一重スカート	30 コマ	8. ワンピースドレス	67 コマ
4. シャツブラウス	54 コマ	9. 子供服	2 コマ
* 細目ごと一般知識・デザイン・作図・縫製・発表会を行う			
服装造形ドレーピング基礎	1 単位 (後期 1 単位)	(000700)	
1. ボディ準備	6 コマ		
2. スカート 3 種 (タイトスカート・セミフレアスカート・フレアスカート)	15 コマ		

【評価方法】 評価方法・対象・比重

服装造形論 I…筆記試験・理解度
 服装造形デザイン I…実物作品デザイン発想・授業姿勢・出欠・発表会
 服装造形パターンメイキング I…実物作品パターンメイキング・出欠・授業姿勢・理解度
 服装造形ソーイング I…実物作品ソーイング・部分縫い・授業姿勢・理解度・出欠
 服装造形ドレーピング基礎…提出課題・授業姿勢・理解度・出欠

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座

①服飾造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース ⑨メンズウェア I

文化ファッション大系 アパレル生産講座

③立体裁断基礎

参考図書 装苑・コレクション誌他

その他資料 実物標本・段階標本、参考プリント他

授業の特徴と担当教員紹介

細目ごと一般知識・デザイン・作図・縫製・発表会を行い、教員が個別にアドバイスする
 各自がデザイン発想からコーディネートまでの流れを通し、服装造形の基礎から応用を学ぶ

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1	科 名	服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	950000	科目名	自由研究	授業期間	通年

担当教員(代表)：羽田 さゆ里	共同担当者： 1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋 5-森 6-山根 7-塚崎
-----------------	---

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・服装造形に関わるテーマに基づき各自の目標に合わせ研究する
- ・個々の能力に合わせ知識・技術の向上を目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

下記 3 つの項目より 1 つ選択し研究を進める。

夏期休暇前・学年末の 2 期に実施

- ① リメイク…リメイク作品を製作、写真を添えてレポートにまとめる
- ② 民族服からのデザイン…発想国を選定しデザイン発想する
- ③ 自由製作…服・小物・アクセサリなどを製作する

評価方法・対象・比重

自由研究…提出物（制作作品・レポート）

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1	科 名	服装科 1 年	単 位	1 ～ 3 単位
科目コード		科目名	制作実習 a・b・c(自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表)：羽田 さゆ里

共同担当者： 1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋
5-森 6-山根 7-塚崎

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を旨とする

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

制作物は服装科 1 年生のレベルに相当するもの以上とし、担任の点検を受けた制作物に限り単位を付与する

制作物 1 体が 1 単位を基準とするが、作品の難易度も考慮し単位数を決める

単位付与の条件・レベルを統一するため、全クラス担任による採点会を実施する

【評価方法】

制作物の体数・難易度を考慮するため採点会を行う (P 評価)

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

制作条件がなく自由にデザイン発想した作品を製作する事により、課題以外の経験・知識が得られる
コンテストの作品も課題と振替えてなく、単位を付与する事によりモチベーションの向上に繋がる

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

コード FA1	科 名 服装科 1 年	単 位	2単位
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：竹内宏明	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

【授業計画】

- 導入・・・【講義 1コマ】
●服飾デザイン論Ⅰについて
- デザインの基礎・・・【講義・演習 6コマ】
●色の体系と識別 ●レイアウト構成 ●作品制作「色相・トーンのデザインマップ」
- イメージと感情効果・・・【講義・演習 3コマ】
●イメージの連想 ●感情効果の表現
- デザインと配色・・・【講義・演習 4コマ】
●色相・トーンを基準にした配色 ●デザインのカラーコーディネーションの展開
●作品制作「カラーコーディネーション」
- デザインの理論・・・【講義・演習 2コマ】
●色彩の科学
- デザインの見え・・・【講義・演習 3コマ】
●対比現象・同化現象 ●膨張性・進出性 ●デザイン構成
- 形態・・・【講義・演習 2コマ】
●形態の構成要素（点・線・面） ●シルエット（直線的/曲線的・フィット/ルーズ）
- コンポジション・・・【講義・演習 5コマ】
●ドミナント・セントラリティ ●シンメトリー・アシンメトリー ●リズム
●作品制作「直曲・コンポジションによるデザイン発想」
- まとめ・・・【講義 1コマ】
●復習 ●試験について

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

演習作品による評価、試験、出席状況、授業態度を考慮に入れる（課題50%・試験25%・出欠15%・授業態度10%）

主要教材図書

文化ファッション大系 改訂版・服飾関連講座② 『服飾デザイン』 文化出版局

参考図書

特になし

その他資料

ベーシックカラー140・B5判、ベーシックカラー140・B8判 （日本色研事業株式会社）
カラーチャート 140

授業の特徴と担当教員紹介

【授業特徴】服飾デザインの分野において、発想力・表現力を養い、具体的なデザイン手法を習得していく
【経歴概略】服飾造形論助手を経験後、デザイン関連科目助手を経て、現在同科目専任講師に至る

記載者氏名 竹内宏明

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科 1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	1 年間

担当教員(代表): 澤田石 澄子

共同担当者: 金谷 容子

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

人体のプロポーション及びポーズと衣服の関連を把握し、デザインの構造を明確に描く事が出来るよう指導に努める。

基礎技法を中心に学生個人の感性を尊重し、創意工夫のあるファッションデザイン画を目標とする。

前期

1. 人体のプロポーション【2コマ】基本となる8頭身プロポーションを学ぶ
2. 人体のポーズ【2コマ】身体の動きと流れを習得する
3. 着装表現【3コマ】身体の動きと衣服の関係を学ぶ
4. フェイス・顔を描こう【2コマ】頭部のバランスを習得
5. アイテム図【3コマ】衣服の構造を明確な線図として描く(ブラウス、シャツ、スカート、パンツ)各自、応用デザインにチャレンジする
6. 水彩絵の具【2コマ】水彩絵の具の混色練習、肌の色

後期

7. 全国服飾学校ファッション画コンクール【1コマ】今年度のテーマを学生自身の感覚で表現する
8. 素材表現【3コマ】特徴のある素材を描く、シースルー、毛並み、キルティング、デニム
9. デザイン発想【3コマ】イメージを具体化しオリジナルデザイン画を描く
10. 終了制作【5コマ】A3サイズのイラストボードを使用し1年間の集大成
制作条件に基づきオリジナルデザイン画の作品にチャレンジする
クラス代表者は年度末のファッション画展に出展する
11. 学年末試験対策【1コマ】ファッションデザイン画の実技試験に向けて完成度の強化をする

評価方法・対象・比重

提出課題 50% 学年末試験 30% 出席状況・授業態度 20% 英字評価 S~C・F

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座⑤ファッションデザイン画・補助プリント

参考図書 ファッション雑誌

その他資料 B4サイズレイアウトパッド・画用紙・水彩絵の具セット・色鉛筆・パステルなど

記載者氏名 澤田石澄子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1	科 名	服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	35000	科目名	服飾手芸	授業期間	通年(隔週)

担当教員(代表)：久保田桂子	共同担当者： 毎熊舞
----------------	------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニック・色の組み合わせなどで様々な応用発展させてクリエイティブな力を養うことを目標とする。

【授業計画】

1. 手芸一般知識(0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎① 基礎刺し1点制作 (3.5)

刺繍の基礎である色糸刺繍の技法を学ぶ

その他アップリケ、ニードルパンチ技法も基礎装飾として習得させる

3. 装飾造形表現 キルティング2種・マジックレース・リバーズアップリケ 基礎作品制作 (2)

ミシンを用いて様々な表面効果を表現するテクニックやレースの原理を用いてオリジナル素材制作するテクニックを習得させる

4. レリーフ・ライク表現 ラティススモッキング 基礎刺し製作1点 (1)

布の縫い縮め方によって新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

5. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎② 基礎刺し1点制作 (2)

光る素材であるビーズ・スパングルや、コードエンブroidアリー基礎・留めつけ方を習得させる

6. 加飾美表現 エンブroidアリー応用 オリジナルバッグ1点制作(4)

これまでに習得した刺繍技法等利用して、オリジナルデザインのバッグを制作

7. 装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作 (2)

様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニックと基本的な金具の使用を習得させる

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 服装科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世 18 世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19 世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20 世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	1950年代のファッション(1)
2	博物館見学	17	1950年代のファッション(2)
3	古代の服飾	18	1960年代のファッション(1)
4	中世の服飾	19	1960年代のファッション(2)
5	ルネサンスの服飾	20	1960年代のファッション(3)
6	バロックの服飾	21	1970年代のファッション(1)
7	ロココの服飾	22	1970年代のファッション(2)
8	第一帝政、王政復古時代の服飾	23	1980年代のファッション(1)
9	第二帝政時代の服飾	24	1980年代のファッション(2)
10	第三共和制時代の服飾	25	1990年代のファッション(1)
11	アールヌーヴォー様式期の服飾	26	1990年代のファッション(2)
12	1910年代のファッション	27	
13	1920年代のファッション	28	
14	1930年代のファッション	29	
15	1940年代のファッション	30	

【評価方法】

前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(20%)、出欠と授業態度(50%)

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションに特を専門とする。

記載者氏名 朝日 真

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1	科 名	服装科 1 年	単 位	2
科目コード		科目名	アパレル素材論 I	授業期間	通年 (27 コマ)

担当教員(代表) : 山田とし子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力をつけさせることを教育目標とする。
布地を理解し扱うためには、その構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの種類、性質などを知り、それらを複合的に捉える必要がある。よって授業は体系的に進め、講義だけではなく実験や演習を含め理解を促し実践的なものにする。

1. 概論 (1 コマ) <講義、実習>	※実習	・アパレル素材の認識 (服装調査)
・アパレルの意味、アパレルと素材の関係		
・布の成り立ち、繊維一糸一布のかかわりと特徴		
2. 繊維 (5 コマ) <講義、実習>	※実習	・繊維鑑別 (呈色法ほか)
・繊維のとは		・染色の基本
・繊維の種類と分類		・先染めと後染めの分類
・繊維成分と構造、性質		
・繊維度と繊維長		
3. 糸 (5 コマ) <講義、実習>	※実習	・糸の構造と太さ (スパンヤーンとフィラメントヤーン)
・繊維から糸製造		・強、並、強撚糸の特徴とその素材
・糸の種類と構造、性質		・単糸と双糸ほか糸構造とその特徴
・単糸、双糸などの糸作り		・毛紡績の分類 (梳毛紡毛と仕上げ) ほか
・糸の太さ并表示		
4. 布地 (13 コマ) <講義、実習>	※実習	・三原組織と布地の理解
・織物、編地、レースなどの種類と性質		・織組織と先染め柄の関係
・繊維別布地解説	※実習	・三原組織以外の組織と布地の理解
・組織別先染め柄表現		
・風合い表現		
5. 加工 (2 コマ) <講義、演習>	※演習	・加工布の種類、分類
・加工の目的と種類		
6. 総まとめ (1 コマ) <講義>		
・1 年間学習してきたことのまとめ		・授業アンケート

評価方法 : 試験45%課題45%授業姿勢10%とする。

授業の特徴と担当教員紹介

授業は、アパレル素材の種類と性質を繊維・糸・布 (織・編など) を系統立てて解説し実験や演習なども含め実践的に行う。
担当教員は大学において素材の専門を学ぶ。学会研修に参加。機屋や様々な工場見学など産地に出向き現状を視察。また海外にも視野を広げる

主要教材図書 : 文化ファッション体系改訂版・服飾関連講座③ 「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書 : 「ワークブック、アパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料 : 「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 山田とし子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科1年	単 位	1単位
科目コード 500100	科目名 クロッキー	授業期間	通年（ 隔週 ）

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

様々なものの見方を通じ、描写の楽しさを再認識する事と合わせ、創造力を伸ばす為の観察力・イメージを見る側に伝える為の基本描写力・着装画の土台となる立体造形の描写力向上を目的とする。

【授業計画】

- 1、幾何形体の描写練習：着装人体の描写につながる幾何形体の描写練習。
- 2、速写をする：全体のシルエットを捉える。生きた動きを捉える。
- 3、小物を描く：観察からの描写。
- 4、頭部を描く：頭部の基本造形を理解。
- 5、脚・着装スカートを描く：脚の基本造形描写。着装スカートと腰・脚の関係確認。
- 6、クレヨンスクラッチ：意識と偶然の描写美の発見。
- 7、立体技法：明暗による立体把握。
- 8、①描写時の視点・気付き：創造につながる本質描写の理解と実習。
②着装シアーワンピースを描く：着装ワンピースと人体の自然な関係確認。
- 9、胴体を描く：胴体を単純化した造形理解。
- 10、腕・手を描く：腕・手を単純化した造形理解。
- 11、①無彩色技法：単色表現の可能性。
②球体関節人体を描く：人体のシンプルな立体描写と大きな関節を押さえる。
- 12、描写応用技法：限られた色数と画材による具象～抽象・色彩描写。
- 13、裸婦クロッキー：裸婦クロッキー実習。
- 14、自然物を描く：造形描写の再確認と質感描写。

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名 柳澤 利光

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1/FA2	科 名	服装科 1・2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	英会話 a・b	授業期間	後期

担当教員(代表)：三村 典召	共同担当者：ヴォーン アリソン
----------------	-----------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】基本的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活やファッションに関係する事例からトピックを選び、関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、ディクテーション、英作文などを組み込んだ構成とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Self-introduction	演習	1
Countries and Fashion Brands	演習	1
Dates and Months	演習	1
Time and Frequency	演習	1
Interrogatives and Questions	演習	1
Giving Directions	演習	1
Adjectives (1)	演習	1
Comparatives and Superlatives	演習	1
Designers known worldwide	演習	1
Adjectives (2)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process	演習	1
Number	演習	1
Fashion show	演習	1

【評価方法】
学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書	適宜プリントを配布する。
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 904010	科目名 就職対策講座 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：羽田 さゆ里	共同担当者：1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋 5-森 6-山根 7-塚崎
-----------------	--

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・ 社会人と学生の違いを認識し、就職に関して早期に関心を持ち就職活動ができるようにする
- ・ 就職活動に必要な実践教育を通して「就職力」の強化につなげる

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 職業人意識・キャリア開発について	マイナビ・就職支援二課
2. ファッション業界職種について	森 薫子・井浦 つくし
3. キャンパスプラン・就職支援室について・動向記録入力	就職支援二課
4. 卒業生講話（企画・デザイン関連）	Millanni デザイナー 根本 貴史
5. "（技術・生産関連）	卒業生
6. ポートフォリオについて	仲田 朝彦
7. 自己分析・適性検査について	文化放送キャリアパートナーズ
8. 就職ガイダンス	就職支援二課
9. 就職活動の進め方・履歴書の書き方①	森 薫子・井浦 つくし
10. プレゼンテーションについて	仲田 朝彦
11. エントリーシートの履歴書の書き方②	森 薫子・井浦 つくし
12. 面談（ES・履歴書チェック）	就職支援二課
13. 企業研究 志望動機作成に繋げる	森 薫子・井浦 つくし
14. プレゼンテーション・講評	仲田 朝彦

評価方法・対象・比重
出欠100%

主要教材図書 BUNKA FASHION COLLEGE PLACEMENT GUIDE

参考図書 なし

その他資料 就職対策講座テキスト、プリント、ビデオ、標本他

授業の特徴と担当教員紹介

就職支援室担当者とキャリアアドバイザーにより1年の早期より就職活動に対する意識とファッション業界の職種について知識を高める授業を行う。

身近な卒業生の就職活動と就職後の現状について講話をしてもらう。

ファッション業界で実際に仕事をしている外部講師に就職活動に必要なポートフォリオの作成方法について講義を受け、実習をする。

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：羽田 さゆ里	共同担当者： 1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋 5-森 6-山根 7-塚崎
-----------------	---

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・ファッション業界の各分野の幅広い知識と技術を習得し、各自の進路を考える動機付けを目標とする
- ・レギュラー授業において包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 心理学 | 学生生活支援室 大森 由紀 |
| 2. ファッションリサーチについて | 高橋 優 |
| 3. 体型について | 高見澤 ふみ・足立 美智子 |
| 4. サステイナブルからデザインを考える) | 一法師 拓門 |
| 5. 裏地の一般知識 | 前田 舞子 |
| 6. 骨格スタイル分析 | 師岡 朋子 |
| 7. 最新の接着芯とテープ | 小川 拓也 |
| 8. 舞台衣装について | 渡邊 里花 |
| 9. メンズファッション | 鈴木 憲道 |
| 10. トренд解説) | WWD 編集者 |
| 11. ヘアメイク・コーディネート | 夏目 幸恵 |
| 12. アイドル衣装について | 平松 正美 |
| 13. ユニフォームについて | 佐古 かがり |

評価方法・対象・比重
出欠100%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント、ビデオ、標本他

授業の特徴と担当教員紹介

レギュラー授業では習得できないアパレル業界の現状について、各専門分野の現場で働いている方々の経験を活かした実技や講義をしてもらう

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA1	科 名 服装科 1 年	単 位	1 単位
科目コード 947100	科目名 コラボレーション a	授業期間	通年

担当教員(代表) : 羽田 さゆ里	共同担当者 : 1-羽田 2-此村 3-徐 4-沖村・高橋 5-森 6-山根 7-塚崎
-------------------	--

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・各企業とのかかわりを持つことにより、企業での実務を知り就職への動機付けを目的とする
- ・課外活動への積極的参加を推進することにより各自の専門性を強化する

(授業計画)

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・「文化服装学院×SALTO リメイクプロジェクト」・・・1 単位(希望学生のみ)

洋服のお直しサロン SALTO 銀座と共にリメイクの楽しさと意義をシェアするプロジェクト

お客様の洋服のリメイクデザインを学生が行い、プレゼンテーションをして採用されたアイディアをもとにリメイク製作を SALTO が行う。

評価方法・対象・比重

コラボレーション・課外活動の内容と実施期間により単位修得とする

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 羽田 さゆ里

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科名	服装科2年	単位	22単位
科目コード	000220/000320/000520/00062 000810/000910/970000	科目名	服装造形Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：吉村 香	共同担当者：1-吉村 2-朝生 3-鞠子 4-市橋 5-佐藤 6-長島・枝村
---------------	---

【授業概要、到達目標・レベル設定】

トレンドやファッションビジネスを考慮しつつ、オリジナル性を追求したデザイン発想を行う
1年次の平面裁断の基礎を踏まえ、応用発展した平面裁断と立体裁断のテクニックを学習する
新たなアイテムを制作する事により、更なる縫製技術の向上を目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

服装造形 論 Ⅱ	通年	3単位
服装造形 デザイン Ⅱ	通年	3単位
服装造形 パターンメイキング Ⅱ	通年	4単位
服装造形 ソーイング Ⅱ	通年	4単位
服装造形 ドレーピング Ⅰ	通年	4単位
卒業研究・創作	後期	4単位

* 立体裁断 (スカート2種)	10コマ	
* 立体裁断 (胸ぐせダーツ3種)	18コマ	
* 胸ぐせバリエーション (平面)	5コマ	
* グレーディング	3コマ	
* カジュアルウェア (一重仕立て)	53コマ	
* 立体裁断 (ブラウス・衿3種)	12コマ	
* バザー作品	20コマ	
* 立体裁断 (3面ジャケット)	13コマ	
* ウィンターコート	58コマ	
* フォーマルウェア (一般知識・部分縫い)	5コマ	
* 卒業制作	78コマ	
* 補講・調整 (質疑応答)	17コマ	合計：292コマ

【評価方法】

S～C・F評価 学業評価 (作品評価) 80% 授業姿勢 20% 【服装造形論：筆記試験 100%】

主要教材図書	文化ファッション大系 服飾造形講座②④⑤⑥⑦⑧ アパレル生産講座③④⑦
参考図書	コレクション・ファッションディテール・WWD
その他資料	プリント

授業の特徴と担当教員紹介

1年次で習得した知識・技術を基に、個々のテーマ・コンセプトに沿った情報収集しデザイン発想を行う
新たなテクニックを身につける為、クラス担任が1年間を通して作品制作のアドバイスと技術指導を行う
完成した作品についてポートフォリオを作成し個人の考えを他者に伝える

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 1005710	科目名 量産技術実習 I	授業期間	前期（集中）

担当教員（代表）：成田 邦子	共同担当者：宮澤 国博、加藤 紀人、井戸川 倫也 高橋 紗希、宋 昇和
----------------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】 シャツの製造実習（一人が全行程を賄う“丸縫い作業”）を通して、シャツ生産指示書（仕様書、指図書、工程分析表、作業標準書）の役割（生産時間の短縮や品質の均一化や作業者の安全 等）について理解を深めることを目標とする。また、工業生産機器の取扱いと安全な基本操作についても学習し、限られた授業時間（納期：D）の中で、出来栄え（品質：Q）にバラツキが生じないよう、量産的な考え方の重要性も認識させる。

【授業計画】 I. ガイダンス・・・実習の目的と内容説明（授業日程、シャツ仕様）（1コマ） II. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習と縫製機器（ミシン）基本操作（1コマ） ①延反 ②自動裁断機（CAM）による裁断 ③シャツの芯貼り、表裏識別シール貼り、個人仕分け ④工業用ミシンの基本操作 III. 基礎練習・・・縫製機器（ミシン・アイロン）の基本操作と縫製準備（3コマ） ①基礎練習（工業用本縫いミシン、縁かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード） ②部分縫い（直線・曲線縫い、短冊あき） ③特殊機器説明（自動玉縁縫機、すくい縫いミシン、電子根巻きボタンつけミシン エッジコントロールシーマ） IV. シャツ縫製・・・シャツ縫製実習（8コマ） ①部品工程（身頃づくり、衿づくり、袖づくり 等） ②組み立て工程（衿付け、袖付け 等） ③特殊ミシン（眠り穴かがりミシン、オートフィーダー付きボタンつけミシン） V. 工程分析表・・・工程分析実習（2コマ） ①工程とは ②工程分析表の作成方法と演習
--

【評価方法】 出席状況（50%） 作品の出来栄え（50%）

主要教材図書 「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」
参考図書 なし
その他資料 「シャツ生産指示書」

授業の特徴と担当教員紹介 工業生産機器が充実している生産実習室にて、ミシン、アイロン、特殊機器の使用方法をシャツ縫製実習を通して学び、工業生産の理解を深める。 担当教員紹介 文化服装学院 専任教授／文化服装学院 専任講師／文化服造学院 助手

記載者氏名 成田 邦子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2 年	単 位	1～3単位
科目コード		科目名	制作実習 d・e・f (自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表)：吉村 香	共同担当者：	1-吉村	2-朝生	3-鞠子
		4-市橋	5-佐藤	6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

制作物は服装科2年生のレベルに相当するもの以上とし、担任の点検を受けた制作物に限り単位を付与する

制作物1体が1単位を基準とするが、作品の難易度も考慮し単位数を決める

単位付与の条件・レベルを統一するため、全クラス担任による採点会を実施する

【評価方法】

制作物の体数・難易度を考慮するため採点会を行う(P評価)

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

制作条件がなく自由にデザイン発想した作品を製作する事により、課題以外の経験・知識が得られる
コンテストの作品も課題と振替えでなく、単位を付与する事によりモチベーションの向上に繋がる

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科名 服装科2年	単 位	1
科目コード 400220	科目名 服飾デザイン論Ⅱ	授業期間	通年（隔週）

担当教員(代表)：竹内 宏明	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

1年次「服飾デザイン論Ⅰ」で習得した色彩・形態の基礎をベースに、ファッションデザインにおけるカラーコーディネーションの応用、イメージ分析、デザイン展開、ヴィジュアル表現についてより実践的に学習する。

授業概要

- オリエンテーション・・・【講義・演習 1コマ】
●導入（服飾デザインⅡについて） ●1年次復習
- ファッションコーディネーション・・・【講義・演習 2コマ】
●配色理論の理解とデザインへの実践
- デザイン発想1・・・【講義・演習 3コマ】
●コンセプトの策定とイメージ発想 ●作品制作「デザイン発想1」
- ファッションイメージ・・・【講義・演習 2コマ】
●イメージ別のデザイン表現 ●イメージの分析と発想
- パーソナルカラー・・・【講義・演習 1コマ】
●アンダートーン ●4シーズン分類法
- デザイン展開・・・【講義・演習 2コマ】
●デザインバリエーションの展開
- デザイン発想2・・・【講義・演習 2コマ】
●イメージ発想からバリエーションの展開 ●作品制作「デザイン発想2」

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

演習作品による評価 出席状況、授業態度を考慮に入れる（課題70%・出欠20%・授業態度10%）

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連講座② 『服飾デザイン』（文化出版局）

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

【授業特徴】服飾デザインの分野において、発想力・表現力を養い、具体的なデザイン手法を習得していく

【経歴概略】服飾造形論助手を経験後、デザイン関連科目助手を経て、現在同科目専任講師に至る

記載者書名欄 竹内 宏明

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科 2 年	単 位	2 単位
科目コード 500810	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：北山 千春	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

基本となる衣服の構造、デザインを明確に表現することに加え、就職試験に向けた早描きのテクニックを身に付ける。
個々のレベルに合わせた個別指導を行い、一人一人の個性を活かしたファッションデザイン画を描けるようにする。

【授業計画】 (全26コマ)

- オリエンテーション (1コマ)**
(1)1年間の授業の流れを把握 (2)描くスキルの確認
- 基本のボディを描く (2コマ)**
各自のデザインに合ったボディ製作 (アウトライン仕上げ)
- 水彩絵の具のテクニック (1コマ)**
水彩絵の具のテクニック演習
- 早描き着装表現 (1コマ)**
就職試験に向けての早描き実習を行う
- 製品図 (2コマ)**
1年次に描いていないアイテムの製品図を描く
- ファッションイラストレーターのテクニックを学ぶ (4コマ)**
(1)模写による学習 (2)オリジナル着装画に展開
- コンテスト・コンクール画 (2コマ)**
(1)コンテスト・コンクールに合わせたデザイン提案の模索、表現
- 素材表現 (3コマ)**
(1)特殊素材、高級素材の表現 (2)様々な素材をミックスした着装画を表現
- デザイン展開 (3コマ)**
(1)オリジナルデザインの着装画を描く (2)デザインバリエーションを製品図で描く
- 修了制作 (6コマ)**
(1)ファッション画としてのイメージの表現力や背景を含めた画面構成を研究し制作する (B3パネル)
(2)進路に合わせたポートフォリオの製作
※上記のどちらかを選択する
- 作品発表 (1コマ)**
修了制作の発表を行う

【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：出席25% 課題75%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書 なし

その他資料 教員作成の資料

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションデザイン画の基礎的な技術を習得できる授業構成。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 北山 千春

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2 年生	単 位	1
科目コード	40000	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 吉村 とも子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。</p> <p>講義と演習により理解を深める。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>	
<p>1. アパレルと品質管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アパレルに求められる品質 ・ アパレルの製造工程別管理 	講義 1 コマ
<p>2. 品質評価試験(実用性試験)と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品質評価試験の種類および品質基準 ・ 染色堅牢度試験 ・ 寸法変化試験 	講義 2 コマ
<p>3. アパレルの品質表示と法規制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務表示 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程 ・ 関連する法規制 不当景品類及び不当表示防止法 安全性に関わる法規制 製造物責任法 等 	講義 4 コマ
<p>4. アパレル製品の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耐洗濯性：家庭洗濯 商業洗濯 ウエットクリーニングとドライクリーニング ・ 特殊クリーニングについて ・ 保管条件と繊維害虫 ・ しみ抜き実験 	講義及び実習 5 コマ
<p>5. アパレル製品の保証と製品事故</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の保障 ・ 製品事故の種類と原因・対策 	講義 1 コマ
計 13 コマ	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>学業評価＝各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題の評価) 80%</p> <p>授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など 20%とし、</p>	総合評価する
---	--------

<p>主要教材図書</p> <p>教科書： ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局発行</p> <p>参考図書</p> <p>その他資料</p>
--

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>吉村とも子 文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。</p>

<p>記載者書名欄</p> <p>吉村とも子</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科2年	単 位	1 単位
科目コード 400300	科目名 服装解剖学	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表）：足立 美智子	共同担当者：
-----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体に関する基礎知識を学習させる。 人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識する方法を学ばせる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション・服装解剖学とは（衣服製作の為に必要な人体の構造）	講義	1
人体のプロポーションについて	講義	1
人体の構成と衣服「全身骨格」	講義	1
人体の構成と衣服「頭骨」	講義	1
人体の構成と衣服「脊柱」	講義	1
人体の構成と衣服「胸郭」	講義	1
人体の構成と衣服「乳房」	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 1	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 2	講義	1
人体の構成と衣服「自由上肢骨」	講義	1
人体の構成と衣服「下肢帯」	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」 1	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」 2	講義	1

【評価方法】

服装解剖学ノート（50％）・原型プリント（25％）・小テスト（25％）・出席

主要教材図書 服装解剖学ノート
参考図書 分担解剖学（骨学）
その他資料 骨格標本・衣服標本・各種計測機器

授業の特徴と担当教員紹介 担当教員：足立 美智子 服装解剖学担当教員と文化・服装形態機能研究所主任研究員を兼務。衣服制作に必要な人体の構造や機能とパターンなどを関連付けた授業を実施。研究所では衣服製作に必要な計測データの蓄積からボディ開発、外部企業や他大学との共同研究開発、障がい者衣料の研究などを行っている。

記載者氏名 足立 美智子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 600100	科目名 ファッションビジネス概論	授業期間	前期 ()

担当教員(代表) : 金久保 雅人	共同担当者 :
-------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します)

- 現代ファッション産業における必要とされる基礎的ビジネス概要を、アパレル社会側見た現状、又は問題点などを講義
- 今後、現代アパレル社会が求める人材、必要とされる基礎知識・基礎能力を高める

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

服飾産業の基礎① (4 コマ)

- 就職後の実社会 (アパレル社会において『消費者に向けての服作り』に必要な実践的な基礎知識の学習
- 服飾産業基本構造の講義[繊維産業の流れ][流通関係][インターネット関連]
- アパレル企業の基礎知識 (企業内の流れ・企業内に於ける責任の認識)
- 現代アパレル周辺産業 (繊維/布帛・ニット) の製造構造の講義

服飾産業の基礎② (6 コマ)

- 現代アパレルの流通産業の基本構造の講義
- 流通の基本構造の講義

服飾産業の基礎③ (3 コマ)

- アパレル産業におけるブランドビジネスの概要と特性の講義
- ブランドブランニングの組み立て
- 市場マーケティングの必要性・実践練習 (店舗リサーチ)

服飾産業の基礎④ (2 コマ)

アパレル会社の基本構造・経営の仕組み・企業としての責任/個人としての責任など社会に向けた講義

評価方法・対象・比重

- ①受講態度/市場マーケティングの練習と発表・プレゼン能力 (チーム単位・責任能力の確認)
- ②各授業内において設問形式の提出課題を用意致します (授業評価とさせていただきます)
- ★①②の授業進行を行いますので、基本、試験は行いません。

主要教材図書

服飾関連専門講座⑫ファッションビジネス (文化服装学院編)・筆記用具・ノート (提出の可能性あり)

★毎授業において資料をもとに授業を進行していきます。

その他資料 (プリント物はこちらで用意致します)

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業にて商品企画、デザイン、生産管理、商品受注管理、接客販売などの業務経験をもとに、現代ファッション産業界で必要とされる基礎的ビジネス概要をアパレル社会側見た現状、又は問題点などを講義し、現代アパレル社会が求める人材、必要とされる基礎知識・基礎能力を高める授業を実施

記載者氏名 金久保 雅人

科コード	科 名 服装科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 グラフィックワーク基礎	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：加藤 正人 / 古瀬友理	共同担当者：
-----------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。デジタルファッション画、カラージュ画像、テキスタイル図案の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

【授業計画】

- (1) パーソナルコンピュータの基本操作(0.5 コマ)
 - ・ハードウェアの操作/コンピュータ本体、マウス、キーボード、モニター等
 - ・OSの操作、ファイルの管理、文字入力
- (2) Adobe Photoshop の基本操作(1.5 コマ)
 - ・Photoshop、ペイントソフトの基礎知識
 - ・各種ツール、パネル、メニューの操作
 - ・描画、加工、編集の基礎技法
- (3) Adobe Illustrator の基本操作(5 コマ)
 - ・Illustrator、ドローソフトの基礎知識
 - ・各種ツール、パネル、メニューの操作
 - ・描画、加工、編集の基礎技法
- (4) デジタルファッション画の製作 下絵取り込み～修正～着色～完成(6 コマ)
 - ・Photoshop によるファッションデザイン画の製作
 - ・下絵のスキミング
 - ・下絵の修正
 - ・着色、陰影、立体感の表現
 - ・カラー、素材等のバリエーション製作
 - ・レイアウト、まとめ
- (5) 衣服製品図の制作(8 コマ)
 - ・衣服製品図の役割
 - ・衣服製品図の描き方
 - ・各アイテムごとの製品図の製作
Tシャツ、ジャケット、ブルゾン、他
 - ・ディテール表現
 - ・カラーバリエーション
 - ・デザインバリエーション
- (6) カラージュの製作(4 コマ)
 - ・Photoshop によるカラージュの手法とプロセスの解説
 - ・画像の切り抜き、合成、加工、編集
 - ・レイアウト、まとめ
- (7) テキスタイルグラフィックの製作(5 コマ)
 - ・Illustrator によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)
 - ・Photoshop によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)

使用ソフト

- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】

- ・提出課題
- ・出席率

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。
ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。
デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科2年	単 位	1単位
科目コード	910300	科目名	服飾手芸（応用）（選択）	授業期間	半期（前期・後期）

担当教員（代表）：久保田桂子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年時に習得した服飾手芸全般における基礎知識を基に更に新しい技術を習得してよりクリエイティブな力を身に付けることを目標とする。

【授業計画】

1. レリーフ・ライク表現 イタリアンスモッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点（3）

布を縫い縮めたり、様々な技法を使って新しい表面効果を表現するテクニックを習得させる

2. レース表現 ニードルレース・ファゴティング・テネリーフレース 基礎作品1点制作（4）

様々なかがりによるファゴティング及びニードルレースの基本的なテクニックを習得させる

3. 加飾美表現 リボンエンブroidアリー基礎 基礎刺し1点（3）

リボンを使った様々な装飾表現を習得させる

4. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作2点（2）

染色、こてあて、花のまとめ方などのアートフラワーの基本的な知識を習得させ、服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを理解させる

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80％ 授業姿勢20％

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11102	科 名 服装科2年	単 位	1単位
科目コード 911000	科目名 ニッティング (選択科目)	授業期間	(半期選択)

担当教員(代表)：下村 みち代	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習、ニットのアイロンのかけ方	講義・演習	1
2	指編みまとめと始末、鉤針基礎（鎖編み、細編み）JIS記号について	講義・演習	1
3	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）	演習	1
4	鉤針応用・円形編み	講義・演習	1
5	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
6	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	演習	1
7	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
8	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
9	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物…80% 授業姿勢・出席…20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 下村 みち代

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	絵画・クロッキー	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 結城 唯善	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

絵画表現における理論と観察の両面から、人体を中心とした立体のモチーフの認識力・描写力を習得する。速写的に対象を捉えて描写する技法である「クロッキー」を起点とし、観察を重視して、描画における多様な技術を、様々な素材を用いた制作を通じて探求する。学生の能力、要望に応じて内容・課題は適宜変更提案する

【授業計画】

1. オリエンテーション
2. クロッキー・デッサンについて
3. 描写と認識～シルエット
4. 観察と描写～顔の描写から
5. 明暗を学ぶ1～明暗と立体表現（光）
6. 明暗を学ぶ2～明暗と立体表現（影）
7. 形態把握1～輪郭線から
8. 形態把握2～構造から
9. 線の探求1
10. 線の探求2
11. 多様な描写1～水彩系絵具
12. 多様な描写2～油性絵具
13. ノードクロッキー
14. まとめ～授業を通じて

【評価方法】

①S～C・F 評価 40%、授業姿勢 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料 適宜配布する

授業の特徴と担当教員紹介

油彩技法を中心とした絵画を専門とし、画家として作品の研究発表を行う担当教員が、その経験に基づき多様な視座から授業を展開する。観察と理論の両面を重視し、基礎的な描写力を向上させる。個々のレベルに合わせた課題解決を目指す。

記載者氏名 結城 唯善

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科 2年	単 位	1 単位
科目コード A91140A/B	科目名 CAD基礎 (選択)	授業期間	通年 (前期/後期)

担当教員(代表) : 成田 邦子	共同担当者 :
------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>アパレルCAD を利用したパターンメイキングに対する基本的なスキルを身につけることを目標とする。平面作図に始まり、スキャナ入力、有り型展開、工業用パターンメイキング、マーキング等を履修する。CAD 基礎レベルの履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。</p> <p>服飾専攻科 技術専攻、デザイン専攻、オートクチュール専攻への進学予定者は受講不可とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>I. ガイダンス (1コマ)</p> <p>II. CAD基本操作 (5コマ)</p> <p>① 原型作図 (直線作成、曲線作成、移動、コピー、不要線の削除)</p> <p>② ブラウス作図 (展開、円弧作成、ボタン作成、地の目作成)</p> <p>③ スカート作図 (計測、ノブ・ノード調整、ベルト作成)</p> <p>III. CAD応用操作 (1コマ)</p> <p>1 スカート展開 (タイトスカート→フレアスカート・セミフレアスカート・ヨーク切り替え)</p> <p>IV. 縫い代つけ (基礎) 工業用パターンメイキング (2コマ)</p> <p>2 スカート、ブラウス (パーツ化、縫い代つけ、パーツ情報の設定、印刷方法)</p> <p>V. パターン入力 (1コマ)</p> <p>① スキャナ使用方法</p> <p>② パターントレース、パターン修正</p> <p>VI. 理解度確認テスト (1コマ)</p> <p>VII. マーキング (1コマ)</p> <p>① マーキング準備 (簡易収集 : 諸条件設定)</p> <p>② マーキング実行 (型入れ⇒用尺、歩留算出⇒印刷)</p> <p>VIII. 3D 操作 (1コマ)</p> <p>① スカートの着せ付け</p> <p>② ブラウスの着せ付け</p>
--

<p>【評価方法】</p> <p>出席状況 (40%) 実技・提出物 (30%) 小テスト (30%)</p>

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 適宜プリント配布

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>アパレルCAD を使用したパターンメイキングの基本的なスキルを身につける。また、工業用パターンメイキング、スキャナ入力、マーキング、3D 等、CAD 機能を活用し基礎を学ぶ。</p> <p>担当教員紹介</p> <p>文化服装学院 専任教授</p>

記載者氏名 成田 邦子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	選択アクセサリー I	授業期間	半期

担当教員(代表)： 毎熊 舞	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾におけるアクセサリーの基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして素材・テクニック・造形・色の組み合わせを習得。普段使いできるアクセサリーからショー等の舞台でも映えるようなアクセサリーの知識習得・制作を目標とする。

【授業計画】

1. ワイヤーク(2コマ)

様々なパーツとワイヤーを使用し、ねじるテクニックでパーツを制作。上下左右動きのある装飾技術を習得。

- ① ねじりの基礎4パターンを制作(提出)
- ② 基礎のテクニックを基にコームをベースにヘッドアクセサリーを制作(ヘッドアクセサリー1点提出)

2. ピンで作るアクセサリー(2コマ)

パーツを繋ぐ金具(丸カン・9ピン・Tピン)の基本的な使い方を理解し、パーツを組み合わせたアクセサリーを制作。下に垂れるパーツ作りのため、パーツのバランスや動きについても確認しながらまとめていく。

- ① 9ピン・Tピンの基本的な使い方をを用いて、パーツの繋ぎ合わせ方を習得(提出)
- ② イヤーフックをベースに着けた時のバランス・動きを確認しながらパーツを組み合わせ、制作(耳飾り1点提出)

3. シャワー台を使用したアクセサリー(2コマ)

アクセサリー金具の1つであるシャワー台を使用し、様々な材料を組み合わせて、立体的かつボリュームのあるアクセサリーを制作。

ビーズ等のパーツだけでなく、リボン・羽根・ボタン等の副資材の使い方を習得。

- ① 留めつけるパーツの選択
- ② ワイヤー、テグスを使用してバランスを確認しながらシャワー台に固定していく(ブローチ1点提出)

4. 樹脂で作るアクセサリー(3コマ)

身近な樹脂材料であるUVレジンを使用し、中に入れる素材を工夫しながらオリジナルのパーツを制作。

- ① 基本的なレジンの使い方2パターンでパーツ作りの基礎を習得(提出)
- ② オリジナルのパーツを制作し金具に留めつける(イヤリング又はピアス1セット以上提出)

5. オリジナルアクセサリー(4コマ)

各自でテーマを考え、アクセサリーのデザイン発想、テクニック・技術の選択、着け心地までを考慮してオリジナルのアクセサリーを制作(1点以上提出)

【評価方法】

S～C・F評価

作品評価70% 学業姿勢30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 実物標本 段階標本 各種コレクション写真

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した教員による実技中心の科目。服のコーディネートに使えるアクセサリーや見栄え重視のアクセサリー等、目的にあったアクセサリー作品制作を行う。

記載者氏名 毎熊 舞

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2年（選択）	単 位	（前期/後期）各1単位
科目コード		科目名	帽子 I	授業期間	半期（前期/後期）

担当教員（代表）：窪田 恵美子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定）

- ・ 帽子の一般知識を習得
- ・ 各自のオリジナルパターンを用いて布帛帽子2作品を製作する。
- ・ 実習を通して、素材に適したデザイン・技法など帽子制作の基礎知識を学ぶ。
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ。

I 講義 帽子の基礎知識 [1コマ]

- ・ 帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・ スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

II 実物製作 2作品

(1)布帛基礎作品（ベレー帽）の製作 講義・演習 [3コマ]

- ・ 作図、製作方法

(2)布帛応用（自由作品）の製作 講義・演習 [10コマ]

- ・ 基礎作図 3点作図
- ・ 基礎作図からのパターン応用、製作方法
- ・ 仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術について
- ・ 素材別の製作方法

帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

評価方法・対象・比重

S～C・F評価、 評価基準：作品80%、授業姿勢20%

主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

参考図書 The HAT magazine 等

その他資料 コスチューム資料室標本

記載者氏名 窪田 恵美子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科1年	単 位	1単位
科目コード	科目名 染色（選択）	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：板橋 美紗子	共同担当者：増田 美砂希
-----------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとに他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。

さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・ 授業内容について
・ 主な染料の種類と特徴
・ 染料と繊維の染色適合性
・ 染料と繊維の結合と染色過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛染色
・ 酸性染料の特徴
・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 染色した羊毛を使用したフェルト制作
・ 羊毛の縮絨性
・ 羊毛のフェルト制作方法 | (3コマ) | (講義・実習) |
| 4. 直接染料による絞り染め
・ 絞り染めによる防染の仕組み
・ 絞り技法と染色法
・ 直接染料の特徴 | (3コマ) | (講義・実習) |
| 5. 顔料樹脂染料による型紙捺染
・ 型紙捺染の仕組み
・ 捺染の種類と版式
・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・ 型紙制作と印捺、仕上げ方法
・ 特殊プリント加工 | (3コマ) | (講義・実習) |
| 6. 乾式転写プリント
・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み
・ 手描き図案による転写方法 | (1コマ) | (講義・実習) |
| 7. マーブル染め
・ マーブリングインクによるマーブル染めの方法
・ 台液に水を使用する方法と台液に糊を使用する方法 | (1コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法（無地染め）・捺染法（模様染め）を実習する
担当教員紹介 板橋 美紗子：明星大学日本文化学部生活芸術学科テキスタイル専攻卒業 文化服装学院非常勤講師
増田 美砂希：文化服装学院卒業。文化服装学院勤務、助手

記載者氏名 板橋 美紗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード FA2	科 名 服装科 2 年	単 位	1
科目コード	科目名 ヘアメイク（選択科目）	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

ファッションとヘアメイクのトータルコーディネートを意識し、よりファッションを活かすメイク知識と技術を身に付ける。更に自分自身の見せ方(就職対策)、製作した作品の見せ方などさまざまな表現方法を学ぶことを目標とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 オリエンテーション (用具の使い方と手順・マッサージ DVD 講義、展示・実習)
- 2 就職対策 I
スペースバランシング理論 (スペースの見極め、分析、配置バランスの確認と修正テクニックの講義・実習)
- 3 イメージメイク基本 (直・曲描き方 眉・チーク・口元の講義、展示・実習)
- 4 イメージメイク I (フレッシュ・キュート講義、展示・実習)
子供顔、パーツ分析—直線的・曲線的なパーツの描き方
- 5 イメージメイク II (クール・エレガント講義、展示・実習)
大人顔、パーツ分析—直線的・曲線的なパーツの描き方
- 6 就職対策 II
ヘアテクニックの基本 I (ヘア用具、ヘア剤の基礎知識とヘアアレンジの講義、展示・実習)
- 7 ヘアテクニックの基本 II (ヘアアレンジの講義、展示・実習)
- 8 年代別メイク I (20 年代～50 年代 メイク解説 50 年代メイク講義、展示・実習)
- 9 年代別メイク II (60 年代～00 年代 メイク解説 60 年代メイク講義、展示・実習)
- 10 トータルイメージ表現 (特殊メイク用具の扱い方と手順の解説 展示・実習)
- 11 まとめ
カルテ作成 & 情報収集 (メイクトレンド傾向解説・展示、収集、カルテ制作実習)
- 12 カルテ提出 & 材料相談 & 撮影準備 (個人作品メイクカルテ制作実習)
- 13 作品撮影 (撮影実習)

評価方法・対象・比重

授業作品(ノート)評価+作品評価+出席状況(学業評価70% 授業姿勢30%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP

その他資料

記載者書名欄 齋藤 房枝

記載者氏名 水野雅己

						文化服装学院教務部	
2024年度　カリキュラム科目概要							
科コード		科　名　服装科2年			単　　位	単13位	
科目コード		科目名　カメラワーク			授業時間		
【授業概要、到達目標・レベル設定】 スマートフォンを使ってプロの技術と知識を実習を交えながら楽しく学ぶ 学生が作品撮りなどで困っている事や、うまく撮影できないポイントを改善する 人物、小物、衣類などを一般レベルより高いクオリティーで撮影できるようにする 専門的な機材を持っていなくても、自分のスマートフォンなどで綺麗に撮影できる技術を身につける							
【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先							
テーマ		方法		コマ数	製作物		
一眼レフとスマホについて 写真の概念と解像度 一眼レフの使い方 スマホ撮影の基本を覚える		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演　撮影実習		1			
アングルについて		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	アングル撮影写真		
露出について スマートフォンの使い方①		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	ポートレート撮影写真 露出補正撮影写真		
レンズについて		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	広角、望遠撮影写真		
光について スマートフォンの使い方②		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	自然光撮影写真		
構図		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	構図撮影写真		
写真の加工		講義、画像で説明、フォトショップ実習		1	基本補正画像		
物撮り		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	物撮り撮影写真		
ストロボ		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	ストロボ撮影写真		
写真の加工2		講義、画像で説明、フォトショップ実習		1	レイアウト画像 レタッチ画像		
撮影の背景 ポージング		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	校内撮影写真		
実技テストの企画書作り 校内デモンストレーション撮影		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	実技テスト企画書 デモ撮影写真		
作品発表		講義、画像で説明、プロジェクターでの実演、撮影実習		1	実技テスト写真		
【評価方法】　出欠、作品							
主要教材図書							
参考図書							
その他資料							
授業の特徴と担当教員紹介 雑誌や広告などでフォトグラファーの仕事をしております。 授業ではスマートフォンを使って綺麗に撮影できるテクニックを、実演、実習をまじえながら一人一人分かりやすく指導いたします。 学生さんが作品撮りなどで実際に困っていることや、うまく撮影出来ない点をカバーして改善いたします。 実習の時間を毎回多く設けて、楽しく学べるように心がけております。							
						記載者氏名：	東原昇平

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA1/FA2	科 名	服装科 1・2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	英会話 a・b	授業期間	後期

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 : ヴォーン アリソン
------------------	-------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 基本的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活やファッションに関係する事例からトピックを選び、関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、ディクテーション、英作文などを組み込んだ構成とする。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Self-introduction	演習	1
Countries and Fashion Brands	演習	1
Dates and Months	演習	1
Time and Frequency	演習	1
Interrogatives and Questions	演習	1
Giving Directions	演習	1
Adjectives (1)	演習	1
Comparatives and Superlatives	演習	1
Designers known worldwide	演習	1
Adjectives (2)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process	演習	1
Number	演習	1
Fashion show	演習	1

【評価方法】
学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書	適宜プリントを配布する。
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科2年	単 位	1単位
科目コード	904020	科目名	就職対策講座 II	授業期間	通 年

担当教員(代表)：吉村 香

共同担当者： 1-吉村 2-朝生 3-鞠子
4-市橋 5-佐藤 6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

就職に必要な情報収集・事前準備とプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指す
就職対策の講義・実習を通し、就職を意識した行動力・実践力を養う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | |
|--------------------|-------------|
| ①就職活動のマナー1 | 森 薫子・井浦 つくし |
| ②就職活動のマナー2 | 〃 |
| ③面接について | 〃 |
| ④自己PR・コミュニケーション力 | 井畑 博康 |
| ⑤グループワーク | 担任 |
| ⑥グループワーク | 〃 |
| ⑦グループワーク | 〃 |
| ⑧プレゼンテーション | 金久保 雅人 |
| ⑨企業パタンナーについて | 清松 正伸 |
| ⑩縫製業について | 辻 吉樹 |
| ⑪デザイナーについて | 加藤 翔平 |
| ⑫就職活動・社会人のケーススタディ | 森 薫子・井浦 つくし |
| ⑬模擬面接・グループディスカッション | 〃 |

【評価方法】

講義・実習の出席により履修認定 (P 評価)

主要教材図書

BUNKA FASHION COLLEGE PLACEMENT GUIDE

参考図書

なし

その他資料

プリント

授業の特徴と担当教員紹介

キャリアアドバイザーによる就職情報と就職活動のすすめ方を学び必要な事前準備を行う
卒業生より就職活動のアドバイスと就職後の実務について話をしてもらう
グループワーク・グループディスカッションにより協調性・コミュニケーション能力を養う
ファッション業界に勤める外部講師にプレゼンテーションを行い講評をもらう

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科2年	単 位	1単位
科目コード	930020	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	前 期

担当教員(代表)：吉村 香

共同担当者： 1-吉村 2-朝生 3-鞠子
4-市橋 5-佐藤 6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

歴史的建造物や伝統文化に触れ感性と美意識を磨く
団体行動を行う事で協調性・社会性・人間性を向上させると共にクラスメートと交流を深める
現地でより理解度・見聞を深める

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

研修旅行

奈良・京都・大阪

秋篠寺・法隆寺・中宮寺・浄瑠璃寺・西陣織会館・太陽の塔

【評価方法】

事前準備・研修旅行の参加により履修認定(P評価)

主要教材図書

なし

参考図書

研修旅行のしおり

その他資料

特別講義(古美術について)・プリント

授業の特徴と担当教員紹介

事前に外部講師による古美術についての特別講義を受講し予備知識を得て、研修旅行に参加する
(クラス担任が引率)

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科2年	単 位	1単位
科目コード	980020	科目名	特別講義 II	授業期間	通 年

担当教員(代表)：吉村 香

共同担当者： 1-吉村 2-朝生 3-鞠子
4-市橋 5-佐藤 6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル関連の幅広い知識・技術を身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | |
|----------------|-------------|
| ①付属について | 岩田 康平 |
| ②古美術について | 村松 哲文 |
| ③現代アートについて | 布施 伊織 |
| ④デジタルプリント | 飯塚 有葉 |
| ⑤素材加工について | 太田 繁 |
| ⑥トレンド解説(SS・AW) | 五十君 花実 |
| ⑦機能服について | 高見澤 ふみ |
| ⑧セレクトショップについて | 清水 博之・浅野 康行 |
| ⑨生産管理概論1～3 | 学内講師 |
| ⑩歌舞伎オリエンテーション | 前川 文子 |
| ⑪ニットの一般知識 | 田才 由美子 |

【評価方法】

講義の出席により履修認定 (P評価)

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション業界で活躍中の外部講師・学内講師による専門分野の講義を受講する

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科2年	単 位	1単位
科目コード	947200	科目名	コラボレーションb(自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表): 吉村 香

共同担当者: 1-吉村 2-朝生 3-鞠子
4-市橋 5-佐藤 6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

外部団体、企業とのコラボレーションに参加し、知識と技術の向上・社会人としてのキャリアアップを図る
仕事の進行・プレゼンテーション方法・人間力・コミュニケーション力を身につけ、個々の可能性を発見する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コラボレーションの依頼があった際、教育的効果がある企画に参加する

【評価方法】

参加状況、作品又はプレゼンテーションにより履修認定(P評価)

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

授業の特徴と担当教員紹介

その時々により期間や内容は異なるが、学内で作業を行い・イベント等に参加する
外部団体・企業の担当者と教員が打合せを行い、学生のコラボレーション活動をサポートする

記載者氏名 吉村 香

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FA2	科 名	服装科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	インターンシップ a (自由選択)	授業期間	通 年

担当教員(代表) : 吉村 香	共同担当者 :	1-吉村	2-朝生	3-鞠子
		4-市橋	5-佐藤	6-長島・枝村

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来のキャリアを視野に入れ、業界・業態・職業自体の理解を深めることを目指す

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

同一の実習先で実働 35 時間実習することを原則として、条件を満たした場合に単位を付与する

- ① 実習先は学生が自己開拓した企業とする
- ② 希望者は所定の手続きに従い、実施日の 14 日前までに担任に申請書を提出する
- ③ 授業時間中の実習は認めない
- ④ 賃金が支払われる場合は対象外とする(交通費実費あるいは少額の食事補助は除く)
- ⑤ 実習修了後、実習学生は 14 日以内にインターンシップレポートを提出する

※本人→実習先→本人→就職支援室→担任

【評価方法】

研修日時・内容・研修先のサインが記入されたインターンレポートを提出する(P評価)

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

インターンシップを経験する事で仕事の流れや実務を理解し就職活動に対する意識向上と自主性を育む

記載者氏名	吉村 香
-------	------